

# 自民「介護」2人を公認

## 参院全国比例区「現場」「若さ」アピール

業界団体の候補が乱立する自民党参議院比例代表選挙。年が明けて、準備も加速している。介護では施設系から2人の候補が立つ。

全国老人福祉施設協議会(石川憲会長)では、前回の参院選で園田修光氏が初当選。常任理事として組織と政治のパイプ役を果たしている。今回、政治団体全国介護政治連盟とともに2人の組織内候補として擁立しているのが、全老協協理事でもある角田充由氏。43歳の若手で前宇都宮市議会議員。

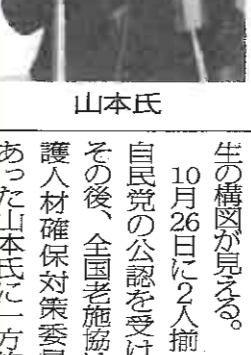


菅官房長官

「励ます会」は支援者約500人が集まり、賑やかに行われた。駆けつけた国会議員のうち、一番の大物が全国老協協が頼みの綱とする菅義偉官房長官。「私は介護報酬の引き上げ係」と挨拶。園田氏は衆議院初当選時の同期とパイプの太さを強調



角田氏



山本氏

もう一人の介護業界の公認候補は元F1ドライバーという変わった肩書きの山本左近氏だ。愛知県出身の36歳。全国老人保健施設連盟(馬場肝作委員長)の政策委員長で同連盟としては初の組織内候補だ。F1ドライバーを引退後、家業の医



療法人、社会福祉法人の経営に参画。会員となつていて日本慢性期医療協会も推薦を決めている。営利法人の若手介護経営者とも親交があり、支持を込めている。24日、都内では「介護の代表を送り出す会」が全国介護事業者連盟などによる共催で開かれ、約100人が集まった。

「人手不足が深刻。介護を守らないと日本を守れない。我々の世代が次に何を残せるかが問われている」と支援を訴えた。

### 背景に菅VS麻生

山本氏の母親は全国老協協の前副会長。政治家を志し、氏は前回と今回参院選の立候補に志願したが選ばれなかった。そこに白羽の矢をたてたのが、候補者を探していた老人保健施設連盟だ。地域包括ケアシステム・介護推進議員連盟と近く、介護連会長の麻生太郎副総理の「医療も介護も分かる人」というお眼鏡にかなったとされる。菅VS麻生の構図が見える。

解任の書面を送り付けた。理由は「法人運営方針にかかわる著しい見解の相違」だ。別組織からの出馬に不快感を表明したかたちだ。前回の介護報酬改定で、全老健が中心となり182万筆もの署名を集めたことが政治的に注目されるきっかけになったが、もともと一枚岩ではない。

参院選での全国老協協の園田氏の得票は10万4千票と低迷、自民の比例当選者中で最低。今回、当選ラインはさらに上がるとみられている。それぞれに支援を得て介護界を伸ばすのか、はたまた食い合いのか、票の行方が注目される。

菅義偉官房長官は、28日、都内で開かれた「励ます会」は支援者約500人が集まり、賑やかに行われた。駆けつけた国会議員のうち、一番の大物が全国老協協が頼みの綱とする菅義偉官房長官。「私は介護報酬の引き上げ係」と挨拶。園田氏は衆議院初当選時の同期とパイプの太さを強調し、支援を呼びかけた。もう一人の介護業界の公認候補は元F1ドライバーという変わった肩書きの山本左近氏だ。愛知県出身の36歳。全国老人保健施設連盟(馬場肝作委員長)の政策委員長で同連盟としては初の組織内候補だ。F1ドライバーを引退後、家業の医療法人、社会福祉法人の経営に参画。会員となつていて日本慢性期医療協会も推薦を決めている。営利法人の若手介護経営者とも親交があり、支持を込めている。24日、都内では「介護の代表を送り出す会」が全国介護事業者連盟などによる共催で開かれ、約100人が集まった。「人手不足が深刻。介護を守らないと日本を守れない。我々の世代が次に何を残せるかが問われている」と支援を訴えた。山本氏の母親は全国老協協の前副会長。政治家を志し、氏は前回と今回参院選の立候補に志願したが選ばれなかった。そこに白羽の矢をたてたのが、候補者を探していた老人保健施設連盟だ。地域包括ケアシステム・介護推進議員連盟と近く、介護連会長の麻生太郎副総理の「医療も介護も分かる人」というお眼鏡にかなったとされる。菅VS麻生の構図が見える。10月26日に2人揃って自民党の公認を受けた。その後、全国老協協は介護人材確保対策委員であった山本氏に一方的に